



eureka

インターネット消費者取引連絡会ご説明資料

2021年12月23日
株式会社エウレカ

会社概要

会社名 株式会社エウレカ/ eureka, Inc.

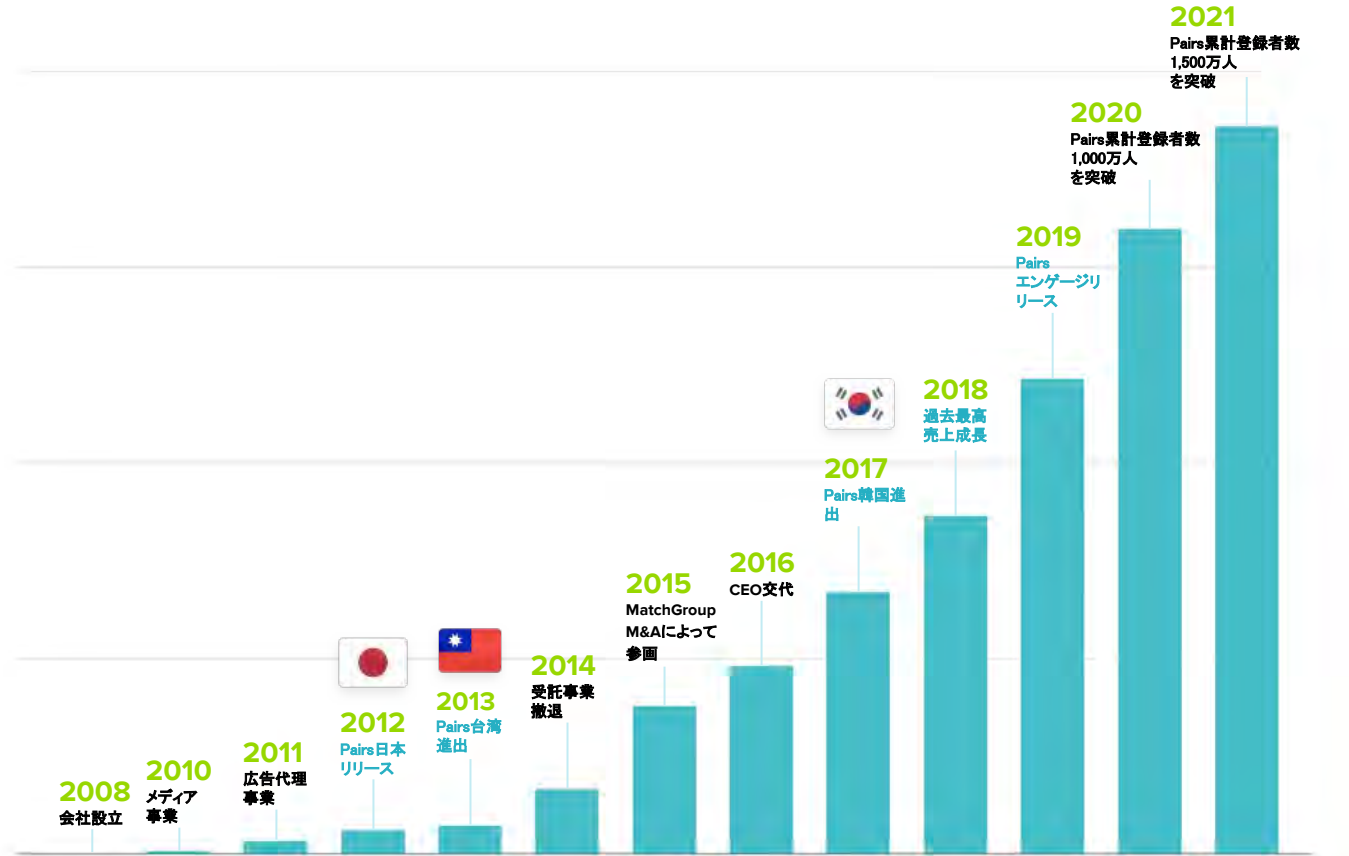
創業 2008年11月20日

経営陣	CEO	石橋 準也
	CMO	中村 裕一
	CTO	金子 慎太郎
	CPO	泉 宏和
	VP of Finance	Andrew Badham
	VP of Product, Pairs	金田 悠希
	Brand Director	西山 絵夢
	Data Director	奥村 純
	Information Director	恩田 拓也

事業内容 自社サービスの企画・開発・運営
・恋愛・婚活マッチングアプリ「Pairs」
・オンライン結婚相談所サービス「Pairsエンゲージ」



売上推移と事業変遷



マッチグループについて

サービス展開国・言語

190ヶ国 42言語

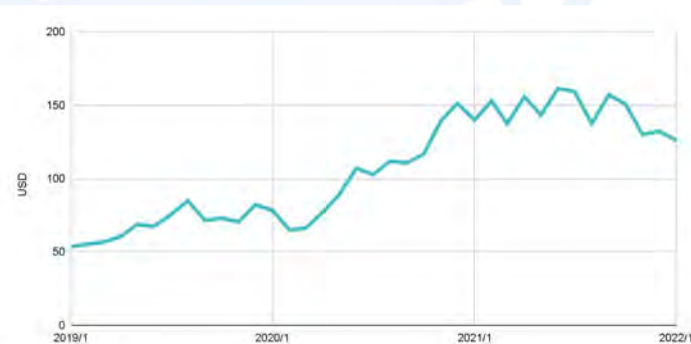
45以上のオンラインデーティングサービスを展開



時価総額

356億ドル

株価 (\$)



出典: 2022年1月 NASDAQ

恋活・婚活マッチングアプリを通じ 交際・結婚するカップルが増えている



マッチングアプリで
お相手を見つけているのは

40人に1人



マッチングアプリで
お相手を見つけているのは

20人に1人

出典: Match Group 自社調査 (2016、2020)
18-59才の男女 2016年11,576人 / 2020年15,729人

今では交際相手探しの手法としてマッチングアプリが 2位に

Q. 具体的にしている活動 (MA)・(20~30代男女 独身・交際相手を見つける活動をしている)



出展: 日本の恋愛・結婚に関する全国意識調査(2019)
交際相手探しの活動をしている20~30代男女・独身 207名



◆ サービス紹介 ◆





恋活・婚活マッチングアプリ

真剣な交際・結婚を望むすべての人向け

- 日本で最も使われている恋活・婚活マッチングアプリ
- 25歳~34歳が最多利用者年齢
- 日本人特有の交際相手探し、恋愛に対する障壁を和らげる様々な自己紹介やコミュニケーション機能
- 24時間365日オペレーターが待機し公的身分証明書の確認、お問い合わせ、パトロール監視に対応



オンラインで始められる結婚相談所

1年以内の結婚を望むすべての人向け

- 登録からお相手の紹介、顔合わせまで全てスマホで完結
- 専属コンシェルジュが婚活をサポート
- 業界最多クラス毎月 20名(紹介10名+検索10名)のお相手候補

➡ 利用者は18歳以上の独身 ➡ 課金は月額課金が基本



Pairsが選ばれる理由

交際相手が欲しい人のニーズに応え、恋活・婚活体験を向上させてきた。

01 ➤

質の高い会員層と交際・結婚実績

2012年のサービス開始以来一貫して
真剣な交際・パートナーを求める多くの方に
ご利用いただき、交際・結婚の実績が多数

02 ➤

相性の良い人と出会うための機能性

“自分らしさ”を表現できる様々な機能を搭載し
お相手探しやマッチング後の会話をサポート
自然体の自分を受け入れてくれる人に出会いやすい

03 ➤

AIの活用

累計登録者数 1,000万人以上のビッグデータをもとに
独自のアルゴリズムを構築
デーティング体験のサポートや安心・安全対策で活用

04 ➤

業界最高水準の安心・安全対策

高精度な本人確認・24時間365日のカスタマーサポート
AIと目視の両方を駆使したパトロール監視体制など
業界最高水準の体制を構築

趣味や価値観で繋がることのできるコミュニティ機能

1

プロフィールで、趣味・
ライフスタイル・価値観として表現

会員が作成した
コミュニティ数

約10万件

一人当たりの
平均登録数

22件



2

コミュニティに所属している
お相手から探すことできる



3

所属コミュニティ情報からマッチング率
の高いお相手をレコメンド



独自のレコメンド
アルゴリズムを
東京大学と
共同研究中

マッチング前に同じ趣味・価値観を持つ複数の人とオープンチャットが可能なコミュニティチャット

2021年5月 開始



□ 「自分に合う人」を見つけやすい

- プロフィールだけでは伝えにくい「人柄」や「雰囲気」を伝えたり、知ることができる
- 興味があること、得意な話題で会話できるので、共感できる人／共感してくれる人を見つけやすい

□ 自分なりの無理のないペース・方法でお相手探しができる

- 自分らしさを表現したりアピールできる機会
- 興味がある話題を見て楽しんだり、「見るだけ」の参加も OK
- 絵文字スタンプでリアクションを送信

□ オープンチャットで「自然な恋愛」を提供

- 学校や職場と同じく複数人の会話の中でお相手のことを知れる
- マッチング前から相手のことが分かるのでマッチング後の会話もスムーズに

[「コミュニティチャットの使い方」動画](#)

業界に先駆けリリースしたビデオデート機能



マッチングしたお相手と
時間や場所を気にせずデート

リリースから
5日以内で
カップル成立

利用者の
70%以上が
満足

“ 外出自粛中だけでなく、今後も実際会う前にひととなりをもっと知るために利用したい。

エウレカ自社調べ。調査対象者：ビデオデート利用者、またはビデオデート利用可能かつ未利用者（計1,535名）調査期間：2020年5月7日（木）～5月11日（月）

距離が縮まるパーティーション

Pairs会員向け調査(21年11月実施)で、デート時に8割以上の方が「感染症対策をしている飲食店を選びたい」と回答する一方、76.1%の方が「(感染対策のための)アクリルパーティーションで会話がしにくい、声が聞こえづらい」と回答していたことから、コロナ禍でのデートでの不便や不満を解消するため、音響と感染症専門家監修のもと、音が聞こえやすく、魅力的に聞こえる周波数帯域の声を通しやすい「声が届きやすい 距離が縮まるパーティーション」を開発。本パーティーションは全国の飲食店に無料で配布することで、来客数・売上減少の一方パーティーション費用の負担増加に悩む飲食店と、コロナ禍で飲食店での感染に不安を感じつつパートナーを求めて恋活・婚活をするシングル(独身・交際相手無し)双方の課題解消を目指しています。



ワクチン接種状況の設定～ニューノーマルに対応した新機能

コロナ禍でも安心してかけがえのないお相手と出会えるよう、新型コロナウイルスワクチンの接種状況をプロフィールに表明できる「ワクチン接種状況の設定」をiOS版Pairsで12月初旬より開始(※AndroidとWEB版は公開済み)。コロナ禍でのデートに関するご自身の考えをメッセージやコミュニティチャットで表現できる「セーフティーデートスタンプ」(仮称)も開始予定。お相手に聞きづらいワクチンやコロナに関する意見を簡単に表現でき、ニューノーマルな価値観が一致するかけがえのない人との出会いをサポートします。



※本機能はワクチンの接種を強制・推奨するものではありません。また、会員のワクチンの接種状況や接種意志を保証するものではありません。

※画像は開発中のものです。実際の画面とは異なる場合があります。

かけがえない人との出会いを提供

Pairsで恋人ができた人

累計

50万人以上

出典：退会者アンケートで「Pairsで恋人ができたから」と回答した累計人数 2021年3月時点

Pairs婚の割合

約 7%

プロフィール写真で
一目惚れ！

出典：「未婚・既婚に関するアンケート調査（仮称）」株式会社日本総合研究所調べ。調査対象者20～49歳既婚男女238名。実査期間2021年6月15日～6月18日（2021年公開予定）



◆ 私たちが向き合う課題 ◆

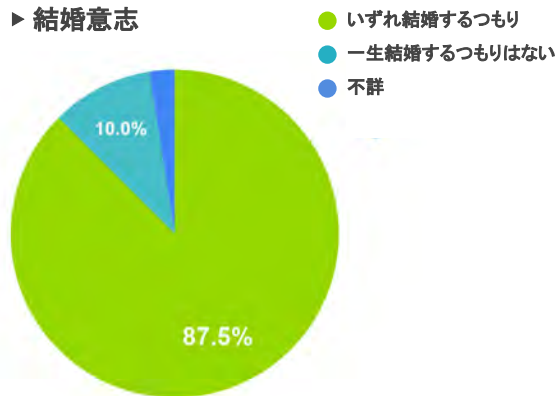
少子化という社会課題の解決にどう貢献できるか

少子化は日本の大きな社会課題。2019年の出生数は90万人を初めて割り、妊娠届出数は、約73万(20年1～10月)まで落ち込む。

少子化の主な原因は未婚化・晩婚化と言われており、結婚意思は高いにもかかわらず、「適当な相手と巡り合わない」ことが理由として一番あげられている。

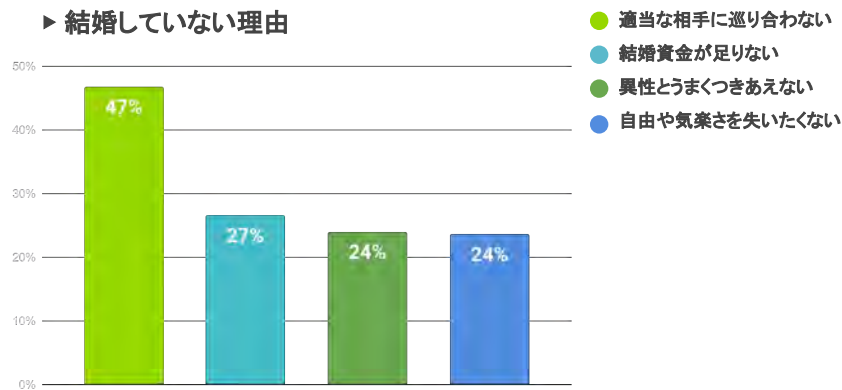
さらに、若者の恋愛離れ(経済的理由、優先度の低下)がこの傾向を加速。

▶ 結婚意志



出典: 第15回出生動向基本調査(国立社会保障・人口問題研究所) 18-34歳未婚者

▶ 結婚していない理由



出展: 少子化社会対策に関する意識調査(平成30年)
20-49歳 結婚経験のない者のうち結婚意向のある者(婚約中除く)

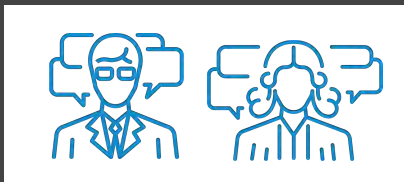
社会課題解決に向けた役割を果たしていくための取り組み

▶ 業界初の経団連加入



「Society 5.0 for SDGs」
の実現に向け団体への活動に参画

▶ 「未婚化・少子化の改善 について考える アドバイザリーボード」の設立



少子化・未婚化の解決に向けた
各分野の有識者を集めた諮問機関

▶ 少子化・未婚化に関する 独自調査の実施



少子化・未婚化の現状把握や対策を
模索するために、第三者の調査機関
や研究者と協力

第一弾 2020年6月～2020年11月

恋愛離れや少子化の現状やその課題を分析し、解決に必要な施策およびマッチングアプリの貢献について議論

【アドバイザーボードメンバー】

- 治部 れんげ氏（座長）：ジャーナリスト・昭和女子大学現代ビジネス研究所研究員
- 板本 洋子氏：NPO法人 全国地域結婚支援センター代表
- 白河 桃子氏：昭和女子大学 客員教授・相模女子大学 特任教授・東京大学 大学院 情報学環客員研究員
- 藤本 耕平氏：若者研究マーケティング / 東北芸術工科大学非常勤講師
- 山田 昌弘氏：中央大学文学部教授

報告書概要

<若者の恋愛離れと未婚化の要因の考察>

1. 日本人の文化的要因
2. 希薄な恋愛欲求と「リスク回避・世間体回避」傾向
3. 恋愛に関する知識と情報の少なさとロールモデルの欠如

<必要な解決策>

- 政府による若年層を中心に安定した収入を維持するマクロ経済政策実施
- データの可視化と多様な恋愛・結婚モデルの提示
- 恋活・婚活におけるシステムとサポートの提供
- 恋愛や性に関する包括的な教育

上記のためにマッチングアプリが貢献できることとして

- 恋愛・結婚のロールモデルの多様化の推進、自己表現を自然にできる恋活・婚活手法（豊富な検索機能、プロフィールによる自己表現、共通の興味や価値観を持つ会員と同じコミュニティで出会う機会、実際に会う前に、相手を知る機会を提供など。

第二弾 2021年10月～2021年12月

より根幹となる2人でのいることのプラスの側面とその効果的な発信方法について議論

【アドバイザーボードメンバー】

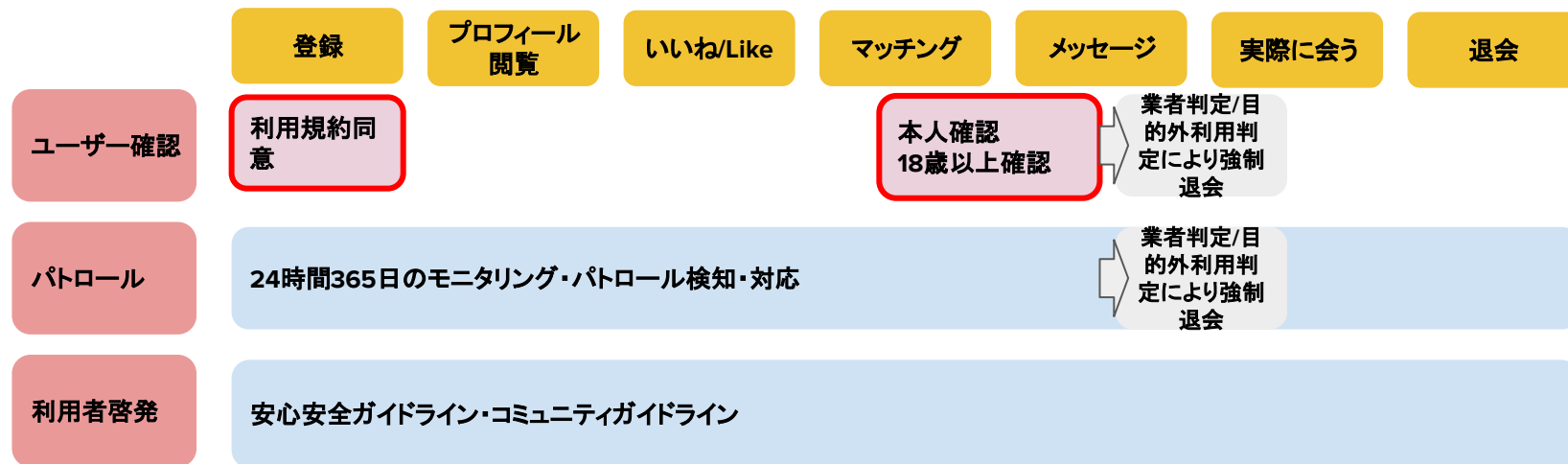
- 治部 れんげ氏（座長）：同左
- 青木 幸弘氏：学習院大学経済学部経営学科教授
- 石山 アンジュ氏：一般社団法人 Public Meets Innovation代表
- 岡本 純子氏：株式会社グローコム代表取締役社長
- 山口 慎太郎氏：東京大学経済学研究科・政策評価研究教育センター教授



◆ 安心・安全の取組 ◆



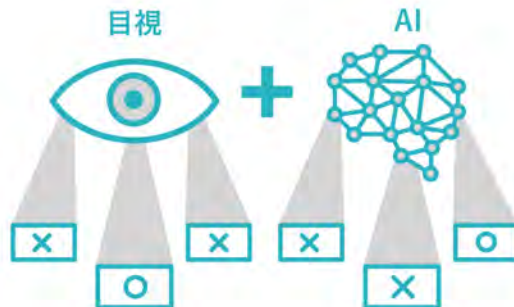
- 公的証明書による本人確認を実施。
- 24時間365日のモニタリング・パトロール検知・対応により、業者・目的外利用を排除。
- 安心安全ガイドラインにより、利用者への注意喚起を実施。



公的証明書の提出・ 生体認証による本人確認



目視とAIを組み合わせ 目的外利用を検知・対処



違反報告 トラブル時の対応



金融機関で導入実績のある生体認証技術も活用。

※警察の捜査にも完全協力体制

ガイドラインの作成

▶ 安心・安全ガイドライン



▶ コミュニティガイドライン



セーフティーセンターの開設

▶ アプリ内の安心・安全に関するユーザー向け情報を集約



定期的な注意喚起

▶ アプリ内のお知らせ・メールにて注意喚起(仮想通貨・投資の例)



結婚婚活・マッチングアプリ業界

- エウレカが初期メンバーとして、結婚・婚活応援プロジェクト(MSPJ)「インターネット婚活サービス分科会」に参画(2017年6月)



- 業界で自主規制ガイドライン「MSPJ7つの約束」を策定(2018年2月)
- エウレカが分科会の代表幹事に選任(2019年9月)

“フタリになる”を、応援する。



行政機関や政策関係者との連携

- 関係機関との対話の実施
- マッチングアプリに関する国会議員の政策勉強会において、業界の課題を共有、独身証明書のデジタル化等を提案(2021年6月～9月)



恋活・婚活マッチングアプリ業界初「マッチングアプリの安心・安全を考えるアドバイザリーボード」設置

- 2021年6月に、外部有識者による「マッチングアプリの安心・安全を考えるアドバイザリーボード」を設置。
- マッチングアプリを安心して使っていただくための更なる環境整備とマッチングアプリ市場の健全な発展に向けて、外部有識者の方々に幅広い知見でご意見をいただき、2021年12月に報告書を取りまとめ。
- マッチグループの代表的なブランドである Pairsはこれを受けて、生体認証技術 eKYCの利用の強化やセーフティセンターの立ち上げなど新たな取り組みを開始。

【安心・安全を推進していくべき方向性】

(1) サービス運営者の役割

- 不正利用者への対応強化、利用者の情報詐称を防ぐ仕組みの構築などのさらなる整備
- 安全対策やトラブル対応の仕組みについての情報提供、リテラシー向上のための周知啓発など
- 単一のサービス運営者では解決が難しい課題についての業界他社、警察、政府機関等との連携の推進

(2) 利用者の役割

- 恋愛リテラシーの向上も含め、自ら主体的に判断していくリテラシーの習得

(3) 業界団体、政府等の役割

- 独身証明書等のデジタル化など、安心感の醸成に寄与する制度面での改善
- 業界としての安全対策推進や健全化のための取り組みの見える化

【アドバイザリーボード メンバー】

- **座長: 曾我部 真裕 氏**(京都大学教授 / 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」委員)
- **尾花 紀子 氏**(ネット教育アナリスト / 総務省「青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース」委員)
- **名波 大樹 氏**(名波法律事務所代表弁護士 / 出会い系・アダルトサイト被害対策会議所属弁護士)
- **三上 洋 氏**(ITジャーナリスト)

サービス運営者として安心・安全な利用環境の整備を推進しながら、外部関係者も含めた様々なステークホルダーと協業。

安心・安全な利用環境の整備

- 生体認証による本人確認やAIを活用した24時間365日のパトロールによる不正・目的外利用の防止の強化。

リテラシーの向上のための啓発

- 利用者が悪意のある相手に騙されないようにするための注意喚起や利用者リテラシー・恋愛リテラシーの向上のための啓発を実施。

業界・公的機関・有識者との協業促進

- 業界団体における自主基準ルールの策定・改定、公的機関との連携や政策提言の推進、外部有識者との連携強化。